

脳卒中・循環器病対策基本法の今国会での成立を求める患者・家族・医療関係者の会

2017.4.19 参議院議員会館

開催報告

〔 法案成立を求める会（発言順） 〕



【開会挨拶】 峰松 一夫（日本脳卒中協会 理事長）：

日本脳卒中協会が運動に取り組み始めてから 10 年目になります。2014 年には 14 万人を超える署名を集め、脳卒中対策基本法案として参議院で発議していただきましたが、残念ながら衆院解散に伴い廃案になりました。そこで改めて、予防法や急性期治療に共通点の多い循環器病を含む対策基本法の成立を目指し、関連団体の皆様と一緒に取り組んでいます。



【開会挨拶】 小室 一成（日本循環器学会 代表理事）：

脳卒中を含めた循環器病の死亡者数はがんと同等であり、後期高齢者に限ればがんを上回ります。後期高齢者が増加する我が国で、急性期から回復期、在宅に至るまでの新しい診療体制の整備と、そのための人材育成が必要です。一方で、循環器病の患者数の正確な統計がなく、またガイドラインに沿った適正な診療が行われているかどうか不明です。そこで今後より良い診療を行うための対策を立てる上でも全国レベルの疾患登録が必要です。また、循環器病では予防が大変重要かつ有効であり、若者を守るためにも全国的な啓発活動が大事です。これらを実行するには国の力が必要です。

最後に、法案を求める会の患者代表としてご尽力いただいた日本心臓ペースメーカー友の会 副会長の日高進様が 3 月に心筋梗塞で他界されました。日高様のためにも何とか今国会で法案を成立させるため先生方のお力を頂きたいと考えます。

【基調報告】 中山 博文（日本脳卒中協会 専務理事）：

脳卒中・心臓病による死亡数、医療費はがんに匹敵します。脳卒中は寝たきりの最大の原因で、後遺症で苦しむ方が多く、家族の介護負担も大きい病気です。近年、発症から数時間以内であれば後遺症を軽減できる治療が登場しましたが、実施率に大きな地域差があります。いっどこで倒れても、専門的医療機関に救急搬送してもらい、専門的治療を受けられるように、全国的整備が必要です。この法律によって、予防や発症時対応に関する義務教育を含めた市民啓発、救急搬送態勢の整備、専門治療ネットワーク構築、発症登録による地域の現状把握などを実現し、予防、後遺症軽減、患者・家族支援の推進、医療費・介護費の大幅な軽減が期待されます。



【基調報告】 磯部 光章（日本心不全学会 前理事長）：

心臓病は、推計で 250 万人と言われ高齢化に伴い激増している心不全、発症すると病院に運ばれるまでに 14%が亡くなる心筋梗塞、比較的若い方が突然発症して病院に運ばれるまでに 60%が亡くなる大動脈解離などがあります。どれも予防することができ、また、病気に対する正しい知識を持ち、救急医療体制の整った病院で早期に治療を行うこと、心臓リハビリテーション等の介入治療を行うことで、救命率の増加、再入院率の低下を見込むことができますが、現在の日本では体制が整っていません。教育啓発、健診、救急医療体制、リハビリ、在宅医療、介護、社会支援、早く法律をつくり、これらの社会基盤を整備して頂きたいのが私どもの願いでございます。





【参加者発言】 岡村 勲（元日本弁護士連合会 副会長）：

私は数年前に心筋梗塞を発症し、もう少し治療が遅ければ助かりませんでした。痛みが出た後に対応が遅れてしまったのは、私に心臓病の知識が無かったためです。脳梗塞になった私の友人の弁護士も知識が無く、治療を受けたものの対応が遅くれました。リハビリ等も行いましたが後遺症が残ってしまい、優秀であったにも関わらず弁護士登録を抹消されました。これは文化的な損失です。がんでは、がん対策基本法ができてから、実にこれの啓発活動が国民にいきわたって、早期に治療を受けられるようになりました。本法案を成立させ、心筋梗塞や脳梗塞の場合にも、大事に至らないためにぜひ啓発活動を行って頂きたいと思います。



【参加者発言】

川勝弘之（厚生労働省「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る

診療提供体制の在り方に関する検討会」委員 / 日本脳卒中協会理事）：

13年前の48歳の時に脳梗塞になりました。脳梗塞にならないことが重要ですが、そのためには啓発、教育が大切だと感じています。発症時に、すぐに病院に行くべき症状なのに、事の重大性を知らず、受診せず様子を見てしまう。また患者は病院から薬を飲む意義を教育されていないから予防の薬を止めてしまう。このため脳卒中は再発率が10年間で50%と高い。幸い私は職場復帰できましたが、職場の仲間や上司は脳卒中について知らないため、なぜいつまでも後遺症が治らないのか、飛行機に乗ったら再発するぞ、などと言われ、とても辛い思いをしました。しっかりと法律のサポートのもと、国民に広く啓発をしていくことで、私のような患者を減らすことができるはずです。



【参加者発言】

園田尚美（日本失語症協議会 事務局長・副理事長 / 日本脳卒中協会 理事）：

夫が脳梗塞で重度失語症になり16年、ずっと介護をしています。失語症の約9割は脳卒中が原因であり、リハビリテーション実施体制と社会参加支援、相談支援・整理が必要です。現状は十分なリハビリテーションを受けることができず、復学や復職、就職、日常生活に大きな支障を抱えている患者・家族が多くいらっしゃいます。患者としての人間の尊厳の尊重、患者家族が当たり前の生活を送る権利を維持するために、国を挙げて脳卒中・循環器対策に取り組む必要があります。

[国会議員（発言順）]



袖木 道義 議員（衆議院 民進党/衆議院 厚生労働委員会 理事）：

法案の対象の拡大や受動喫煙の扱い等、党内での議論ももちろんございます。民進党の医療の法案の担当ともしっかりと連携をして、また、今日お集まりの各党の関係者の皆さまがしっかりと受けとめさせていただいて、法案が少しでも前に進んでいくように、皆さまとともに力を合わせて頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

岡本 充功 議員（衆議院 民進党）：

今日は皆さんのこの熱意、十分承りました。またしっかりと頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いたします。



山口 和之 議員（参議院 日本を元気にする会）：

医療奉仕でリハビリテーションセンター、あるいは病院のほうで30年ほど脳卒中にかかわらせていただきました。中山先生（司会）の熱い思いというのは、もう最初からずっと受けとめておりました。なぜ通らないのかというぐらいの話です。今日も参加されている皆さんからたくさん、参加して声をかけてくれという声 comes。毎回毎回、皆さんにご迷惑をかけてますが、今度こそ、よろしくお願いたします。

小松 裕 議員（衆議院 自由民主党/衆議院 厚生労働委員会 委員）：

一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



赤枝 恒雄 議員（衆議院 自由民主党/衆議院 厚生労働委員会 委員）：

国会でただ一人の産科医でございます。数年前に妊婦さんが脳溢血でたらい回しで亡くなった事件もございました。しっかりと頑張ります。

階 猛 議員（衆議院 民進党）：

岩手県は寒い地方でございまして、ヒートショックなどで脳卒中や循環器系の病気で亡くなる方も多いたと思います。また、食生活の関係もあって、塩分のとりすぎで、脳卒中になられる方が多いということで、大変この問題については関心を持っております。ぜひ皆さまからたくさんご教示いただいて、そして、この対策を一步でも二歩でも早く進められるように頑張りたいと思います。



原口 一博 議員（衆議院 民進党）：

妻が3年前に脳卒中で倒れ、亡くなりました。人ごとじゃない、一刻も早くこの法律を通したいと思います。

古川 俊治 議員（参議院 自由民主党）：

私は外科医でございます。妻は循環器内科医でございます。自民党のほうで医療に関する事務局長をやっておりますので、しっかりこの場をおして議論をしていきたいと思っております。皆さんのお力添え、よろしくお願い申し上げます。



阿部 知子 議員（衆議院 民進党）：

私は小児科医ですが、この前の解散によって、この法律がここまで延びていることを申し訳なく思います。急性期も大事、リハビリも大事、とにかくやっぱり1日も早く法が成立して、皆さんのこれまでの思いが実ることを願っております。

後藤田 正純 議員（衆議院 自由民主党）：

この法案、政局を乗り越えて、しっかり超党派で早急に法案として上げたいと、このように思っておりますので、皆さん頑張っていきましょう。



高木 義明 議員（衆議院 民進党）：

私の母も脳卒中で倒れました。皆さん方の思い、しっかり受けとめて頑張りたいと思っております。

鈴木 克昌 議員（衆議院 民進党）：

基本法で実現できることをしっかりとやらさせていただきます。頑張ってください。



伊東 良孝 議員（衆議院 自由民主党）：

私の親しい友人が循環器あるいは脳外科の先生でいつも聞かされているところであります。基本法の成立に向けて頑張ってください。

小川 克巳 議員（参議院 自由民主党/参議院 厚生労働委員会 委員）：

私も理学療法士でございます。父が心筋梗塞で亡くなっております。また、近親者2人も、解離性大動脈瘤破裂で亡くなりました。そうしたことから、脳卒中にしてもそうですし、循環器疾患でもそうなんですけども、我々にとって身近な疾患であります。こういった疾患に対して、基本法ができないということがそもそもおかしいというふうに私も思っております。精いっぱい努力をしたいと思います。





石田 昌宏 議員（参議院 自由民主党）：

私は看護師なんですけど、一番最初に勤めた病棟が循環器の内科の病棟で、かなりこの問題は自分の課題だというふうに思っています。理論だけじゃなくて、介護とか生活のそのものに大きな影響を与える疾患ですから、しっかり取り組んでまいりたいと思います。

斎藤 洋明 議員（衆議院 自由民主党）：

新潟県も寒冷地ということで、脳卒中、循環器疾患が非常に多い県でございます。先生方のご指導をいただきながら、法制に向かって頑張っております。



中山 展宏 議員（衆議院 自由民主党）：

4月15日に地元で心臓血管セミナーをさせていただきました。大変大盛況でございました。皆さまのご尽力に心から敬意を表してまいりたいと思います。

宮島 喜文 議員（参議院 自由民主党/参議院 厚生労働委員会 委員）：

私は行政や臨床の現場で長らく病院で臨床検査を担当しておりました。皆さまとともに一緒に頑張ります。



上野 賢一郎 議員（衆議院 自由民主党）：

全面的に賛成です。全力で頑張らせていただきたいと思います。

杉尾 秀哉 議員（参議院 民進党）：

私は3年前に父が心筋梗塞で倒れまして、親の死に目に会えませんでした。それと前後して、中学校時代の親友、大学の親友、それぞれ心臓病で倒れまして、家族が発見したときには既に息を引き取って、とても、とても本当に人ごととは、私も含めて思えません。皆さんの思いに応えられるように頑張ってお参りたいと思います。



新谷 正義 議員（衆議院 自由民主党/衆議院 厚生労働委員会 委員）：

この基本法成立に向けて、しっかり尽力してまいります。

石井 正弘 議員（参議院 自由民主党）：

私は息子が2人医師でございます。したがって、全力で成立に向かって頑張ります。



山田 修路 議員（参議院 自由民主党）：

法案成立に向けて、しっかりと頑張っていきたいと思います。私の父や知人も多くこの病気にかかっております。頑張ります。

三ッ林 裕巳 議員（衆議院 自由民主党/衆議院 厚生労働委員会 理事）：

私、循環器の内科医であります。この脳卒中も心筋梗塞も血管病でありますから、とにかくもう時間との勝負であります。そういった体制をやはり日本全国津々浦々にやらなくてはいけないと思っております。とにかく厚生労働委員会理事としても、しっかりとこの法案、今国会で詮議することに全力を尽くしてまいりたいと思います。



中川 雅治 議員（参議院 自由民主党）：

先生方のご指導をいただきながら、法案の成立に向けて、私も全力で頑張っております。

渡嘉敷 奈緒美 議員（衆議院 自由民主党/衆議院 厚生労働委員会 理事）：

国立循環器病センターの向いの薬局で薬剤師として勤務をしておりました。多くの病人の方々にお目にかかって、これは予防すればきっと助かる命がたくさんあると。その後のケアも大切だということで、これだけ基本法をつくって救われる方が多い法律はないんじゃないかなと、それを確信しておりますので、ともに頑張っていきましょう。



河村 建夫 議員（衆議院 自由民主党）：

もうこの法律、ここまでできておるようでございます。今日、これだけの皆さんが集まれたんですから、一気に成に成立を目指して頑張っております。

羽生田 俊 議員（参議院 自由民主党/参議院 厚生労働委員会 委員長）：

一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。





神谷 昇 議員（衆議院 自由民主党）：

息子が整形外科医をしております、ちょうど2歳のときに川崎病を患いました。それで国立循環器病センターにもお世話になりました。そんなことで一生懸命頑張っております。

河野 正美 議員（衆議院 日本維新の会/衆議院 厚生労働委員会 委員）：

私はもともと精神科医でございまして、福岡で精神科の病院の、今も理事長をしているところでございます。今日はわが党からもたくさん来ささせていただいておりますが、担当としてしっかり頑張りたいと思います。



高橋 千鶴子 議員（衆議院 日本共産党/衆議院 厚生労働委員会 委員）：

前回の集会のときよりもたくさんの議員が集まっておりますので、絶対成立させたいと思います。

東 徹 議員（参議院 日本維新の会）：

もう今国会で必ず成立できるように、私も頑張りますので、どうぞよろしく願いたします。



伊東 信久 議員（衆議院 日本維新の会）：

私自身も医師免許を持ってまして、整形外科医をやっております。救急救命、脳外科のほうでもやらせていただいたんですけれども、昭和6年生まれの私の父が15年前に脳梗塞になりまして、家で助かりまして今びんびんしております。この法案、しっかりと頑張らせていただきたいと思います。

馬場 伸幸 議員（衆議院 日本維新の会）：

東徹参議院議員と私は、この法案の口切り役でありました中山太郎元衆議院議員の弟子でございます。我々はそういう意味でもこの法律を絶対に通すということで、ここで皆さま方に必ず全党を挙げて成立させるということをお誓い申しあげて、ご挨拶にかえさせていただきます。



松沢 成文 議員（参議院 無所属）：

私は、この心臓病、脳卒中と最も関係の深いたばこ対策にずっと取り組んでおりまして、神奈川県知事をやったときには、全国で初めて受動喫煙防止条例をつくらせていただきました。今、東京五輪に向けて国会のほうでも受動喫煙防止のための法律を協議しているところでありまして、ぜひとも、逆のお願いにもなってしまいますが、この法律も国民の健康を守るための法律ですので、皆さま方の全面的なご支援をお願いをいたしまして、ご挨拶にします。

園田 修光 議員（参議院 自由民主党/参議院 厚生労働委員会 理事）：
しっかりとこの基本法の成立に向けて頑張っていきたいと思います。



森山 裕 議員（衆議院 自由民主党）：
基本法の大事さはよく承っておりますので、成立に向けて微力を尽くして参ります。

小倉 将信 議員（衆議院 自由民主党）：
皆さん方と気持ちを同じくして頑張ります。



石崎 徹 議員（衆議院 自由民主党）：
私も今この必要性を伺いましたが、なぜ今までこの基本法がなかったのかと不思議なぐらいこの法律の重要性というのは高いというように思っておりますので、先生方と力を合わせて法律の成立に向けて頑張っていきたいと思っております。

堀井 巖 議員（参議院 自由民主党）：
対策の重要性、そして、法案の必要性、何度も伺っております。微力ながら成立に向けて努力いたします。



佐藤 啓 議員（参議院 自由民主党）：
しっかりと頑張らさせていただきます。

森本 真治 議員（参議院 民進党）：
私も皆さんとしっかりと力を合わせて、一日も早い成立に向けて頑張っていきたいと思っております。





齋藤 健 議員（衆議院 自由民主党）：

私の祖父も祖母も脳卒中で亡くなりました。この法案に反対する人っているんじゃないか。頑張ります。

坂井 学 議員（衆議院 自由民主党）：

今日、これだけ多くの与党、そして野党の、しかも厚労委員会に関係をする厚労部会に関係をするといった先生方が応援をしてくださるということはこの目で見て、この法案、大丈夫だろうと確信をしたところでもございます。ともに力を合わせてまいりたいと思います。



石井 みどり 議員（参議院 自由民主党/参議院 厚生労働委員会 委員）：

10年前から取り組んでいます。どうぞ皆さんと力を合わせて、何としてもこの国会で成立させたいと思います。私もくも膜下出血の既往者であります。母もくも膜下出血をやりました。この基本法、絶対に必要です。成立すれば日本全国で最も必要な治療が受けられることになります。どうぞ今、超党派すべての会派の先生方、賛成っておっしゃっていただきました。これを本当に法律にするためには、患者さん、学会の先生方、皆さんと力を合わせる必要があります。何とぞよろしくお願い申し上げます。

尾辻 秀久 議員（参議院 自由民主党）：

10年頑張ってまいりました。今度こそ何とかしましょう。頑張りましょう。



小西 洋之 議員（参議院 民進党）：

私も5年間、この法律に携わっております。私も父親は脳卒中で21年寝たきりでした。循環器の患者の皆さんの、ご家族の皆さんのためにも、今国会でぜひ成立をさせるように民進党の中でも頑張ります。

菅家 一郎 議員（衆議院 自由民主党）：

やっぱり医療、保険、福祉は大きな課題がり、私の父親が、大学4年のときに脳血栓で倒れて、右半分麻痺になって、ちょうど介護で戻った経験がありましたが、皆さま方の思いは非常に強く感じておりますので、しっかりと貢献してまいりたいと思います。



土屋 品子 議員（衆議院 自由民主党）：

非常に脳卒中のことや循環器系の問題、重要な問題だと思っています。それと、栄養士として食と健康ということでも、非常に大事だと思っていますので、ぜひ皆さまとともにこれを進めていきたいと思っています。

福岡 資麿 議員（参議院 自由民主党）：

私が委員会の理事をやっているときからの懸案事項でございますから、皆さま方と力を合わせて頑張っていきたいと思っております。



自見 英子 議員（参議院 自由民主党/参議院 厚生労働委員会 委員）：

私もこの問題、脳卒中・循環器対策基本法ということで、長年にわたりましてご尽力してくださっていることに心からの敬意を感じております。医療業界の要望といいますものが、実は永田町におりますと本当によっぽどの圧力と熱意じゃなければ実現しないというところは目の当たりにさせていただいております。私自身も実は小児科で生育基本法というものを掲げておりますけれども、こういった超党派によって多くの国会議員の先生方にご理解をいただいて、そして、一致団結して進んでいくということが何より大事なことであります。大もとは患者さんのことを思うと、そして、ご家族の方を思うと、リハビリに取り組んでくださっている患者さまと支えているスタッフと、こういう社会が実現してほしいという大もとは患者さまに対する愛があるわけでございます。ぜひ、私もこの脳卒中、そして心臓病に関しまして、もっともっと国民の理解が深まればいいと思っておりますし、何よりも永田町、霞が関の理解が深まる、その一助になればこんなにありがたいことはないと思っております。医療界の、医療、介護、福祉の代表選手の1人として、ここにご列席の超党派の国会議員の先生方と一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。



平口 洋 議員（衆議院 自由民主党）：

一生懸命勉強して、皆さんの言うとおりに頑張りたいと思っております。



富岡 勉 議員（衆議院 自由民主党/衆議院 厚生労働委員会 委員）：

もともと消化器外科をしております、地元のほうの循環器の先生等から非常に強い要望をいただいております。やはりこの疾患というのは、将来介護が必要になる頻度というのが大変高く、危惧するところであります。したがって、超党派で、どういう格好で法案を仕上げればいいのかとあって、ずっと検討している状態で、これからいろいろなディスカッションしながら、患者の多くの団体の皆さまの意見を聞きながら、法案を仕上げたいと思っております。



福島 瑞穂 議員（参議院 社民党/参議院 厚生労働委員会 委員）：

私は議員になって19年目になるんですが、ほぼ厚生労働委員会に所属をしております。初め脳卒中の皆さんたちが法案をつくりたい、何とか早くつくりたいと言って来られて、循環器病とジョイントする、あるいはそれが脳卒中というのもしっかりちゃんと取り上げてほしいということもあり、でも、1つに脳卒中・循環器病対策基本法という形で、今国会の成立を目指すということに社民党も私自身も全面的に支援し、頑張っていきたいと思っております。がんや自殺や、いろんなものもそうですが、基本法ができるとさまざまな施策と基本計画と予算がついたり、これが足りないあれが足りない、こうしようと、失語症の話がありましたが、有効な施策がもっと総合的により強く打ち出してやっていけると思っております。法律があるとないのでは、やっぱり政府あるいは国会の力の入れ方、予算のつけ方も政策も変わってくるというふうに思っております。基本法の制定に向けて、厚生労働委員会ですっかり頑張るっていう決意を申しあげて、私の心からの挨拶といたします。



[医師会・歯科医師会・薬剤師会・労働者 代表 (発言順)]



市川 朝洋 様 (日本医師会 常任理事) :

脳卒中・循環器病の羅患者は非常に多く、羅患者が安心して治療でき、国民の健康のためにも基本法を成立させ十分に議論して頂きたい。



小玉 剛 様 (日本歯科医師会 常務理事) :

病気の予防、早期治療、リハビリテーションは、国民の健康寿命の延伸と、羅患者の早期の社会復帰に重要であると歯科医師会でも認識しております。10年間の議員の先生方、患者・家族の会や職能団体の皆様方の取り組みに心より敬意を表するとともに、本法案の今国会での成立に私どもも全面的に協力させていただきます。



山本 信夫 様 (日本薬剤師連盟 会長) :

本法案は広範囲で疾患を捉えており、治療から予防、教育、疾病統計と、超高齢化社会の中で必要な法律です。私どもの役目は予後の薬の提供ですので、その面からもしっかり支援していきたいと考えます。



高松 和夫 様 (UA ゼンセン 副書記長) :

今回の働き方改革でも9本の柱の1つに治療と職業生活の両立が入りました。長時間労働はまだまだ減らず、過労死も数多くあり、ぜひ疾患予防からも本法案を成立させるよう頑張ってください。

【 法案成立を求める会 出席者一覧 】

患者会・家族会 【脳卒中】 (五十音順)

赤嶺 愛子	全国失語症患者家族会
荒井 雅広	江戸川失語症友の会 会長
今枝 睦宏	脳卒中者友の会「あけぼの会」 副会長
川勝 弘之	日本脳卒中協会 理事 / 厚生労働省「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方に関する検討会」 委員
合田 栄一	目黒失語症友の会 会長
後藤 博	福岡脳卒中療友会
坂口 正徳	脳卒中者友の会「あけぼの会」 会長

園田 尚美	日本脳卒中協会理事/日本失語症協会の事務局長 副理事長
奈良 久美子	青森市脳卒中中等友の会 事務局長
奈良 喜彦	青森市脳卒中中等友の会 副会長
埜 美どり	日本失語症協会の豊島失語症友の会 会長
森本 せつ子	失語症友の会若竹
八島 三男	日本失語症協会の理事長
友井 規幸	若い失語症のつどい 埼玉県 会長

患者会・家族会 【循環器】 (五十音順)

井上 美枝子	日本心臓ペースメーカー友の会 副会長 / 厚生労働省「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方に関する検討会」 委員
岡村 勲	元日本弁護士連合会 福会長

塩見 正晴	日本ICDの会 理事
須磨 幸蔵	日本心臓ペースメーカー友の会 名誉会長 / 東京女子医科大学 名誉教授

学会・職能団体 【脳卒中】 (五十音順)

井口 保之	日本脳卒中協会東京都支部 / 東京慈恵会医科大学内科学講座 神経内科 教授
岩石 隆光	日本脳卒中協会 理事
木村 和美	日本脳卒中学会 理事 / 日本医科大学神経・脳血管内科 教授
古賀 昭貴	日本言語聴覚士協会 常任理事
小林 英一	日本脳卒中協会千葉県支部 副支部長 / 千葉大学医学部附属病院 脳卒中センターセンター長・脳神経外科 診療教授
塩川 芳昭	日本脳卒中協会東京都支部 / 日本脳神経外科学会 理事 / 杏林大学 副院長・脳神経外科 教授
高橋 良輔	日本神経学会 理事長/京都大学医学部神経内科 教授
竹川 英宏	日本脳卒中学会 常務理事 / 獨協医科大学神経内科 准教授 超音波センター センター長
立石 恒雄	日本言語聴覚士協会 事務局長
富永 悌二	宮城県脳卒中協会 理事長 / 日本脳卒中の外科学会 理事長
富本 秀和	日本神経学会 理事 脳卒中セクションチーフ / 三重大学神経内科 教授

中村 春基	日本作業療法士協会 理事長
中山 博文	日本脳卒中協会 専務理事 / 中山クリニック 院長
野川 茂	日本脳卒中学会 理事 / 東海大学八王子病院神経内科 教授
橋本 洋一郎	日本脳卒中学会 理事 / 熊本市市民病院神経内科・地域医療連携部
長谷川 泰弘	日本脳卒中協会神奈川県支部 支部長 / 聖マリアンナ医科大学内科学神経内科 教授 副院長
半田 一登	日本理学療法士協会 会長 / 日本脳卒中協会 理事
平田 幸一	日本脳卒中協会栃木県支部 支部長 / 獨協医科大学神経内科 教授 院長
平野 照之	日本脳卒中学会 理事 / 杏林大学脳卒中センター長・脳卒中医学 教授
星野 晴彦	日本脳卒中協会東京都支部 / 東京都育生会中央病院
松丸 祐司	日本脳神経血管内治療学会 事務局長 / 筑波大学脳神経外科脳卒中予防医学講座 教授
峰松 一夫	日本脳卒中協会 理事長 / 国立循環器病研究センター 病院長

学会・職能団体 【循環器】 (五十音順)

池亀 俊美	日本循環器看護学会 理事 / 聖徳国際病院
磯部 光章	日本心不全学会 前理事長 / 榊原記念病院 院長
大屋 祐輔	日本高血圧学会/琉球大学循環器腎臓神経科学 教授
岡村 智教	日本循環器病予防学会 理事 / 慶應義塾大学医学部保健学公衆衛生学 教授
片桐 敬	ジャパンハートクラブ 理事長
小室 一成	日本循環器学会 代表理事/東京大学循環器内科 教授

下澤 達雄	日本高血圧学会総務委員会副委員長 / 国際医療福祉大学三田病院臨床検査医学 主任教授
前川 眞広	日本心臓血圧研究振興会 / 榊原記念病院
宮内 克己	日本心臓病学会 代議員 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科
森下 竜一	日本循環器学会 / 大阪大学臨床末梢医学子治療学 教授
山口 徹	日本心臓病 常任理事

上記以外 (順不同)

市川 朝洋	日本医師会 常任理事
小玉 剛	日本歯科医師会 常務理事
山本 信夫	日本薬剤師連盟 会長
石井 甲一	日本薬剤師連盟 副会長
安東 哲也	日本薬剤師連盟 副会長
大澤 泰輔	日本薬剤師連盟 常任総務
大原 整	日本薬剤師連盟 総務
近藤 奈緒美	日本薬剤師連盟 総務

工藤 万知	日本薬剤師連盟 事務局
高木 雅史	日本薬剤師連盟 事務局
長江 彰	日本労働組合総連合会
高松 和夫	UA ゼンセン 副書記長 / 連合 前雇用対策局長
田中 宏幸	日本建設業職員労働組合協議会 議長
大曾根 直紀	日本建設業職員労働組合協議会 事務局長
伊藤 弘泰	日本建設業職員労働組合協議会 政策企画局次長
舘 よう子	全国生命保険労働組合連合会 書記局員

【 国会議員（本人出席） 出席者一覧 】 （五十音順）

赤枝 恒雄 議員（衆議院 自由民主党）
東 徹 議員（参議院 日本維新の会）
阿部 とも子 議員（衆議院 民進党）
石井 正弘 議員（参議院 自由民主党）
石井 みどり 議員（参議院 自由民主党）
石崎 徹 議員（衆議院 自由民主党）
石田 昌宏 議員（参議院 自由民主党）
伊東 信久 議員（衆議院 日本維新の会）
伊東 良孝 議員（衆議院 自由民主党）
いなつ 久 議員（衆議院 公明党）
うえの 賢一郎 議員（衆議院 自由民主党）
岡本 充功 議員（衆議院 民進党）
小川 克巳 議員（参議院 自由民主党）
奥野 信亮 議員（衆議院 自由民主党）
小倉 将信 議員（衆議院 自由民主党）
尾辻 秀久 議員（参議院 自由民主党）
神谷 昇 議員（衆議院 自由民主党）
河野 正美 議員（衆議院 日本維新の会）
河村 建夫 議員（衆議院 自由民主党）
菅家 一郎 議員（衆議院 自由民主党）
木内 孝胤 議員（衆議院 民進党）
菊田 まきこ 議員（衆議院 民進党）
北川 知克 議員（衆議院 自由民主党）
北村 誠吾 議員（衆議院 自由民主党）
北村 経夫 議員（参議院 自由民主党）
古賀 之士 議員（参議院 民進党）
後藤田 正純 議員（衆議院 自由民主党）
小西 洋之 議員（参議院 民進党）
小林 鷹之 議員（衆議院 自由民主党）
小松 裕 議員（衆議院 自由民主党）
齋藤 健 議員（衆議院 自由民主党）
斎藤 洋明 議員（衆議院 自由民主党）
坂井 学 議員（衆議院 自由民主党）
佐藤 啓 議員（参議院 自由民主党）
階 猛 議員（衆議院 民進党）
島村 大 議員（参議院 自由民主党）
自見 はなこ 議員（参議院 自由民主党）
新谷 正義 議員（衆議院 自由民主党）
杉尾 秀哉 議員（参議院 民進党）
鈴木 克昌 議員（衆議院 民進党）
そのだ 修光 議員（参議院 自由民主党）
高木 義明 議員（衆議院 民進党）
高橋 千鶴子 議員（衆議院 日本共産党）
田野瀬 太道 議員（衆議院 自由民主党）
土屋 品子 議員（衆議院 自由民主党）
とかしき なおみ 議員（衆議院 自由民主党）
富岡 勉 議員（衆議院 自由民主党）
中川 雅治 議員（参議院 自由民主党）
中山 展宏 議員（衆議院 自由民主党）
丹羽 雄哉 議員（衆議院 自由民主党）
羽生田 俊 議員（参議院 自由民主党）
馬場 伸幸 議員（衆議院 日本維新の会）
原口 一博 議員（衆議院 民進党）
平口 洋 議員（衆議院 自由民主党）
福岡 資麿 議員（参議院 自由民主党）
福島 みずほ 議員（参議院 社民党）
古川 俊治 議員（参議院 自由民主党）
堀井 巖 議員（参議院 自由民主党）
舞立 昇治 議員（参議院 自由民主党）
牧山 ひろえ 議員（参議院 民進党）
松沢 成文 議員（参議院 無所属）
溝手 顕正 議員（参議院 自由民主党）
三ツ林 裕巳 議員（衆議院 自由民主党）
宮崎 タケシ 議員（衆議院 民進党）
宮島 喜文 議員（参議院 自由民主党）
森本 真治 議員（参議院 民進党）
森山 裕 議員（衆議院 自由民主党）
盛山 正仁 議員（衆議院 自由民主党）
山口 和之 議員（参議院 日本を元気にする会）
山田 修路 議員（参議院 自由民主党）
柚木 道義 議員（衆議院 民進党）

【 国会議員（代理人出席） 出席者一覧 】 (五十音順)

糸数 慶子 議員 (参議院 沖縄の風)
井上 信治 議員 (衆議院 自由民主党)
伊波 洋一 議員 (参議院 沖縄の風)
上西 小百合 議員 (衆議院 無所属)
上野 通子 議員 (参議院 自由民主党)
大隈 和英 議員 (衆議院 自由民主党)
太田 和美 議員 (衆議院 民進党)
大西 健介 議員 (衆議院 民進党)
大西 宏幸 議員 (衆議院 自由民主党)
大野 泰正 議員 (参議院 自由民主党)
岡田 直樹 議員 (参議院 自由民主党)
落合 貴之 議員 (衆議院 民進党)
片山 大介 議員 (参議院 日本維新の会)
片山 虎之助 議員 (参議院 日本維新の会)
金田 勝年 議員 (衆議院 自由民主党)
鴨下 一郎 議員 (衆議院 自由民主党)
川合 孝典 議員 (参議院 民進党)
川田 龍平 議員 (参議院 無所属)
木原 稔 議員 (衆議院 自由民主党)
倉林 明子 議員 (参議院 日本共産党)
小池 晃 議員 (参議院 日本共産党)
こうだ 邦子 議員 (参議院 無所属)
小林 史明 議員 (衆議院 自由民主党)
斉藤 鉄夫 議員 (衆議院 公明党)
櫻田 義孝 議員 (衆議院 自由民主党)
佐々木 紀 議員 (衆議院 自由民主党)
鈴木 俊一 議員 (衆議院 自由民主党)
高市 早苗 議員 (衆議院 自由民主党)
高橋 克法 議員 (参議院 自由民主党)
武田 良太 議員 (衆議院 自由民主党)
田中 英之 議員 (衆議院 自由民主党)
玉城 デニー 議員 (衆議院 自由党)
土屋 正忠 議員 (衆議院 自由民主党)
寺田 稔 議員 (衆議院 自由民主党)
富樫 博之 議員 (衆議院 自由民主党)
中川 俊直 議員 (衆議院 自由民主党)
長崎 幸太郎 議員 (衆議院 無所属)
中西 健治 議員 (参議院 自由民主党)
長浜 博行 議員 (参議院 民進党)
中山 のりひろ 議員 (衆議院 自由民主党)
西村 康稔 議員 (衆議院 自由民主党)
野間 健 議員 (衆議院 無所属)
はせ 浩 議員 (衆議院 自由民主党)
羽田 雄一郎 議員 (参議院 民進党)
鉢呂 吉雄 議員 (参議院 民進党)
原田 義昭 議員 (衆議院 自由民主党)
比嘉 奈津美 議員 (衆議院 自由民主党)
船田 元 議員 (衆議院 自由民主党)
榊屋 敬悟 議員 (衆議院 公明党)
松本 剛明 議員 (衆議院 無所属)
馬淵 澄夫 議員 (衆議院 民進党)
ミヤザキ 政久 議員 (衆議院 自由民主党)
宮路 拓馬 議員 (衆議院 自由民主党)
柳田 稔 議員 (参議院 民進党)
山尾 志桜里 議員 (衆議院 民進党)
山口 泰明 議員 (衆議院 自由民主党)
山田 宏 議員 (参議院 自由民主党)
山谷 えり子 議員 (参議院 自由民主党)
横路 孝弘 議員 (衆議院 民進党)
吉川 貴盛 議員 (衆議院 自由民主党)
吉川 ゆうみ 議員 (参議院 自由民主党)
笠 浩史 議員 (衆議院 民進党)
若宮 健嗣 議員 (衆議院 自由民主党)